

## セキスイ熱膨張耐火材 ファイブロック® ケーブル区画貫通措置部材 鋼製電線管用

国土交通大臣認定品

取扱説明書

貫通する防火区画

ALC/コンクリート壁・床  
中空壁/片壁  
準耐火45分壁

### 製品内容

品名	品番	サイズ(厚さ×幅×長さ)
φ39用テープ	TBCZ011	2mm×60mm×2.3m
φ75用テープ	TBCZ012	2mm×100mm×2.3m
φ104用テープ	TBCZ013	2mm×150mm×2.3m

\* 固定用針金(被覆付針金) 3.0m/巻 同梱

### 国土交通大臣認定シールのご案内

弊社では、防火区画貫通部の措置にファイブロック区画貫通措置部材をご使用いただいた場合、国土交通大臣認定を取得していることを示す「認定シール」をご用意しております。ご請求方法は、1現場ごとに弊社ファイブロックHPの「認定シール・評定マーク/評定一括プレート申請」よりご請求願います。申請内容を確認の上、ご請求枚数の「認定シール」を送付させていただきます。



WEB申請はこちらから

[https://anet.sekisui.co.jp/fp\\_doc\\_dl/webshinsei.aspx](https://anet.sekisui.co.jp/fp_doc_dl/webshinsei.aspx)

### 適用範囲

- 用途 / 電気配線
- 適合する鋼製電線管

製品	厚鋼電線管	薄鋼電線管	ねじなし電線管
φ39用テープ	G16~G28	C19~C39	E19~E39
φ75用テープ	G36~G70	C51~C75	E51~E75
φ104用テープ	G82~G104	—	—

### ケーブル直のみ貫通の場合

貫通部位		壁		床
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0269	PS060WL-0268-1	PS060FL-0290
開口部	寸法	φ173.4 mm以下		
	形状	円形		
壁または床の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは認定した壁・床)		中空壁(準耐火構造 60分): 厚100 mm以上(木質下地除く) 耐火構造 60分の壁	片壁(片面強化石膏 ボード重張) 厚42 mm以上	ALC床:厚100 mm以上 コンクリート床:厚70 mm以上
ケーブル配管	鋼製電線管 (JIS C 8305)	サイズ	呼び径 104 (外径 113.4 mm) 以下	
		長さ	300 mm以上	
	ケーブル	導体(又は芯線)の 断面積	※325 mm <sup>2</sup> 以下 (1本あたり)	
充てん材		※耐熱シール材、 せっこう系充てん材、 モルタル (ALC, コンクリートのみ) ※推奨品:セキスイ耐火パテ(NCJM001)	セキスイ耐火パテ(NCJM001)	モルタル
占積率	鋼製電線管*	42.8% 以下		
	ケーブル**	71.4% 以下		

\* 開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合

\*\* 鋼製電線管内面積に対するケーブル断面積の総合計の割合

## ケーブル・PF/CD管(混合可)の場合

貫通部位		壁				床
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0616	PS060WL-0618-1	PS060WL-0617	PS045WL-0568	PS060 FL -0595
開口部	寸法	φ173.4mm以下				
	形状	円形				
壁または床の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは 認定した壁・床)		中空壁(準耐火構造60分 耐火構造60分) 厚80mm以上	片壁(片面強化石膏 ボード重張) 厚42mm以上	ALC壁 コンクリート壁 厚75mm以上	準耐火構造45分の壁 厚74mm以上	ALC床 コンクリート床 厚100mm以上
ケーブル・ 配管	鋼製電線管 (JIS C 8305)	サイズ	呼び径104(外径113.4mm)以下			
		長さ	230mm以上		300mm以上	
	ケーブル	導体(又は芯線)の 断面積	325mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)			
	合成樹脂製 可とう電線管	PF管/CD管	PF管 呼び径36(外径45.5mm)以下 / CD管 呼び径42(外径48mm)以下			
充てん材		セキスイ耐火パテ (NCJM001)	モルタル	セキスイ耐火パテ (NCJM001)	モルタル	
占積率	鋼製電線管*	91.8%以下	42.8%以下	91.8%以下	42.8%以下	
	ケーブル・ PF/CD管**	66.3%以下	66.3%以下			
鋼製電線管と壁との隙間の寸法		30mm以下	—	30mm以下	—	

\* 開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合

\*\* 鋼製電線管の開口面積に対するケーブル・樹脂製電線管断面積の総合計の割合

## 異種管継手(アダプター)の場合

貫通部位		壁			床	
国土交通大臣認定番号		PS060WL-0612	PS060WL-0610-1	PS060WL-0611	PS060 FL -0609	
開口部	寸法	φ98.1mm以下				
	形状	円形				
壁または床の仕様 (国土交通大臣が指定もしくは 認定した壁・床)		中空壁(準耐火構造60分 耐火構造60分) 厚80mm以上	片壁(片面強化石膏 ボード重張) 厚42mm以上	ALC壁 コンクリート壁 厚75mm以上	ALC床 コンクリート床 厚100mm以上	
ケーブル・ 配管	鋼製電線管 (JIS C 8305)	サイズ	呼び径39(外径38.1mm)以下			
		長さ	200mm以上			
	ケーブル	導体(又は芯線)の 断面積	38mm <sup>2</sup> 以下(1本あたり)			
	合成樹脂製 可とう電線管	PF管のみ	呼び径36以下(外径45.5mm以下)			
アダプター	材料	鋼製+樹脂製(樹脂部 ①ABS+PC、②ABS+PVC、③ABS+PP)				
充てん材		セキスイ耐火パテ (NCJM001)	モルタル			
占積率	鋼製電線管*	78.2%以下	15.1%以下			
	ケーブル**	40.7%以下				
鋼製電線管と壁との隙間の寸法		30mm以下	—			

\* 開口面積に対する鋼製電線管の断面積の割合

\*\* 鋼製電線管の開口面積に対するケーブル断面積の総合計の割合

●詳しくは各認定書をご確認ください。



認定書一覧はこちらから

<https://www.sekisui.co.jp/fp/technology/index.html>

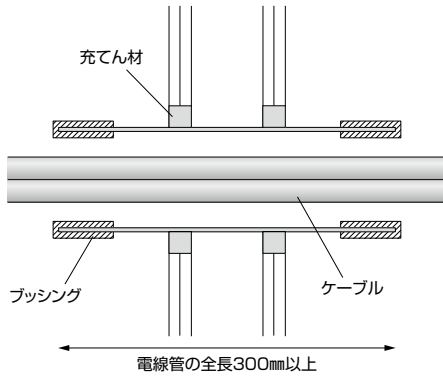
# 標準施工例 [ケーブル直のみ貫通：壁の場合] PS060WL-0269,0268-1

※本工法には「セキスイ耐火パテ(NCJM001)」(別売)を推奨します。(鋼製電線管は別途支持してください。)

## ◎施工手順

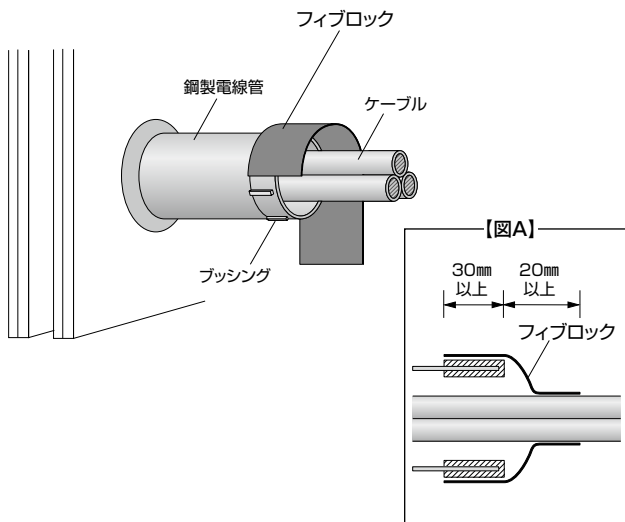
### 1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が300mm以上であることを確認します。
- ケーブルの占積率が適正であることを確認します。



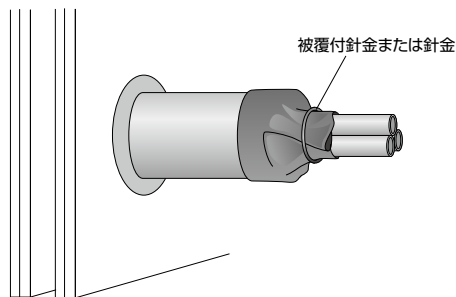
### 2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 「鋼製電線管用テープ」を鋼製電線管のいずれか片側のプッシングの上から図Aの状態になるように巻き付け、ケーブルとの隙間が発生しないように施工します。(鋼製電線管の両側に施工する必要はありません。)



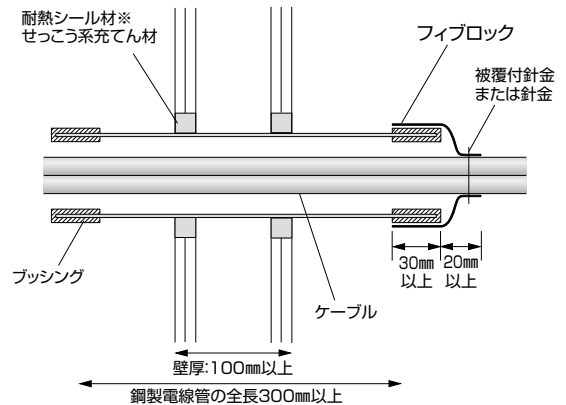
### 3. 仕上げ

- ケーブルにフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。

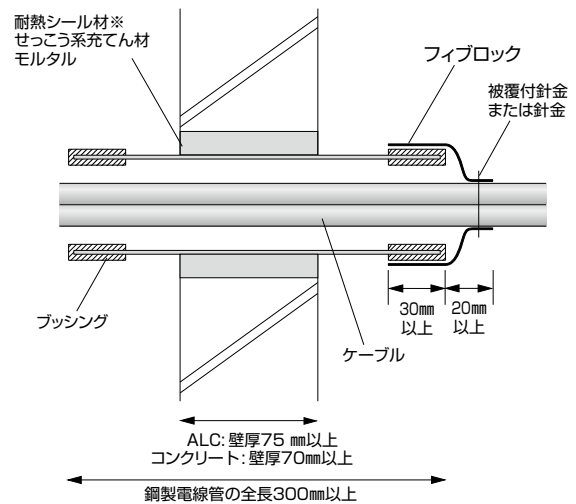


## ◎標準施工図

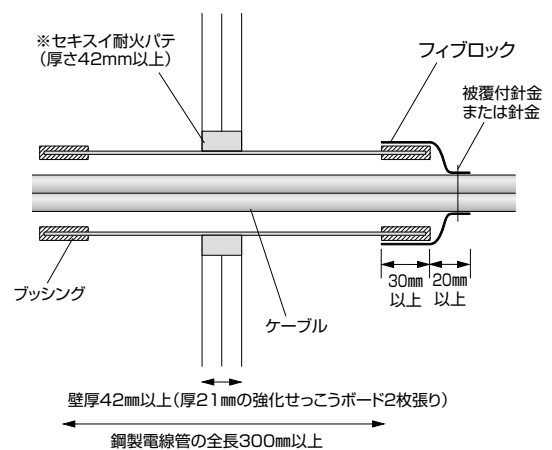
### ●PS060WL-0269の場合 (中空壁)



### ●PS060WL-0269の場合 (ALC・コンクリート/押出成形セメント板壁)



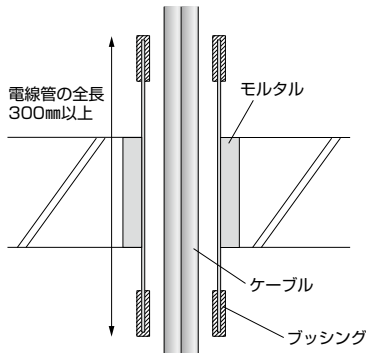
### ●PS060WL-0268-1の場合 (片壁)



◎施工手順

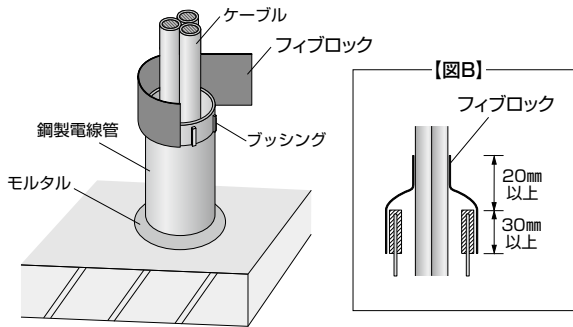
1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が300mm以上であることを確認します。
- ケーブルの占積率が適正であることを確認します。



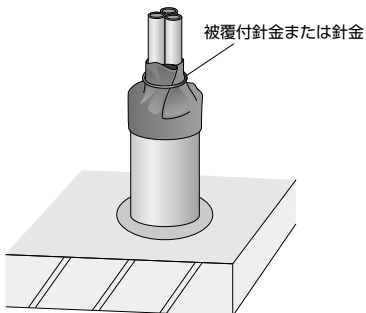
2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 「鋼製電線管用テープ」を鋼製電線管の床上側のブッシングの上から図Bの状態になるように巻き付け、ケーブルとの隙間が発生しないように施工します。(床下側の鋼製電線管に施工する必要はありません。)



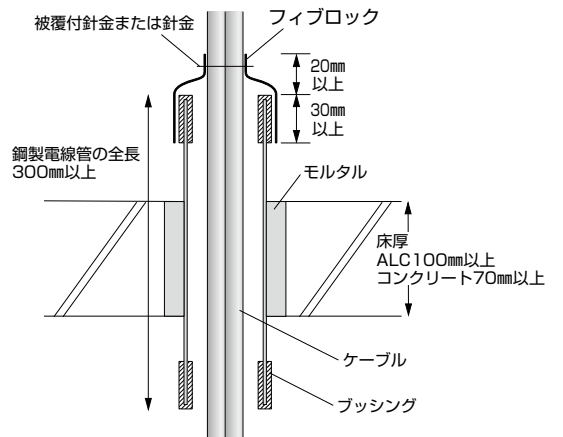
3. 仕上げ

- ケーブルにフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金、または針金で固定します。



◎標準施工図

●PS060FL-0290の場合 (ALC・コンクリート床)

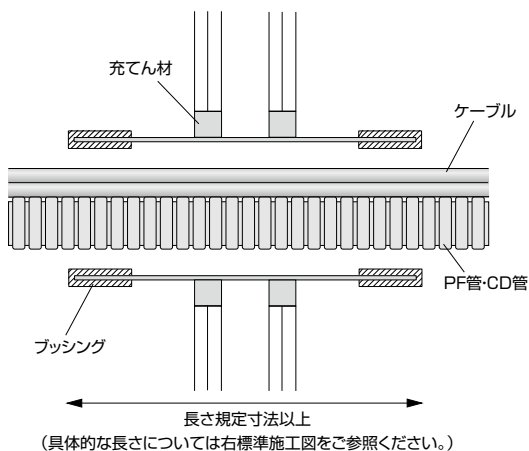


※PS060WL-0616, 0618-1, PS045WL-0568には「セキスイ耐火パテ(NC-JM001)」ご使用ください。(鋼製電線管は別途支持してください。)

◎施工手順

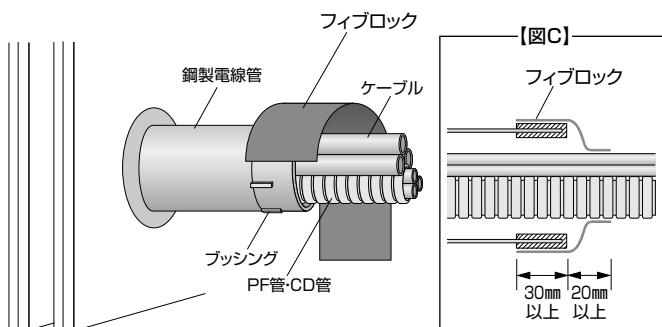
1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が規程寸法以上であることを確認します。
- ケーブル・PF/CD管の占積率が適正であることを確認します。



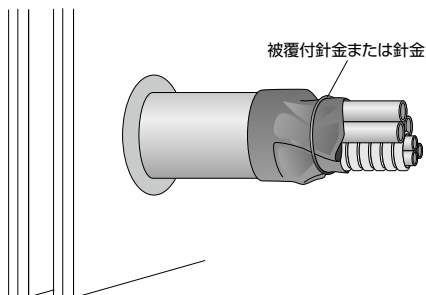
2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 「鋼製電線管用テープ」を鋼製電線管のいずれか片側のプッシングの上から図Cの状態になるように巻き付け、ケーブルとの隙間が発生しないように施工します。(鋼製電線管の両側に施工する必要はありません。)



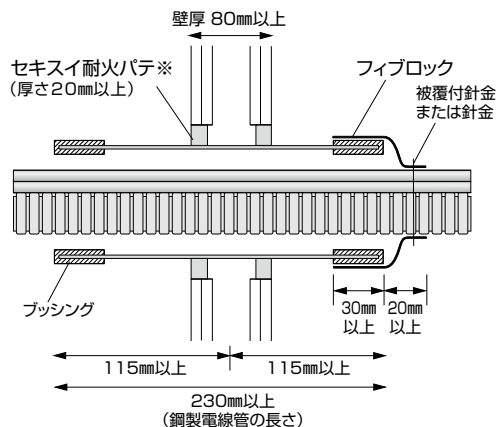
3. 仕上げ

- ケーブルにフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。

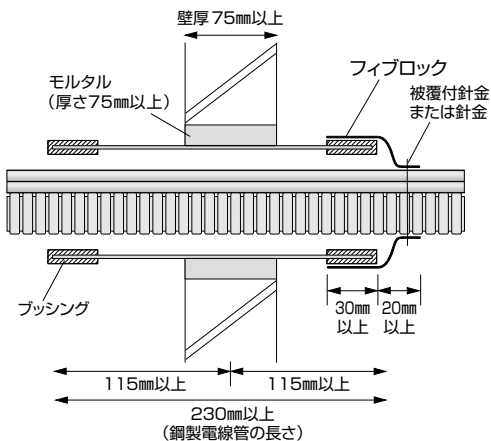


◎標準施工図

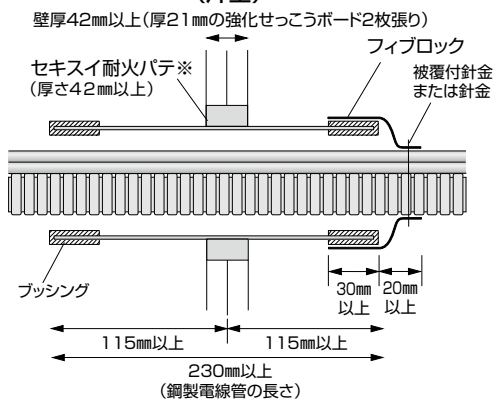
●PS060WL-0616の場合 (中空壁)



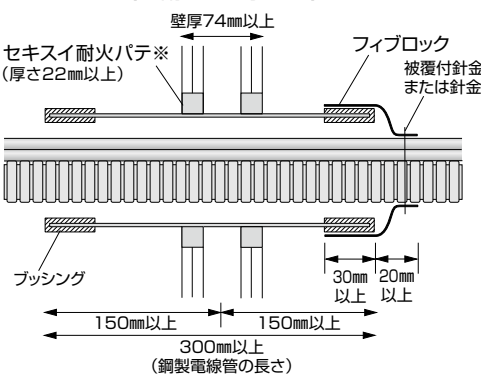
●PS060WL-0617の場合 (ALC・コンクリート壁)



●PS060WL-0618-1の場合 (片壁)



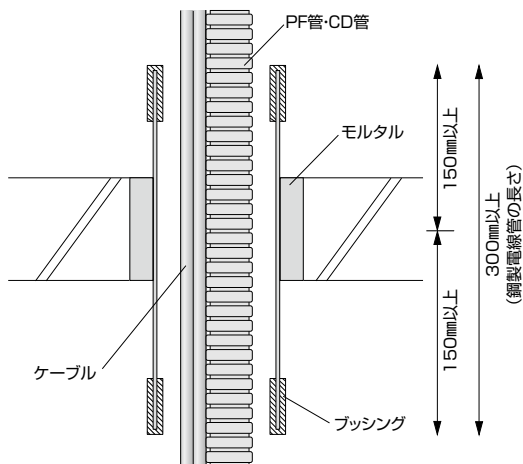
●PS045WL-0568の場合 (準耐火45分の壁)



◎施工手順

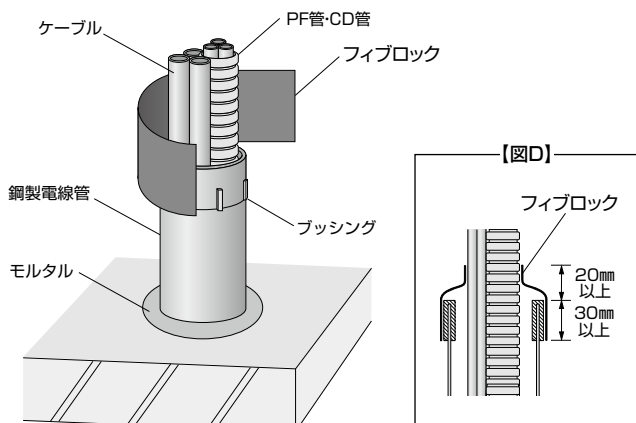
1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が300mm以上であることを確認します。
- ケーブル・PF/CD管の占積率が適正であることを確認します。



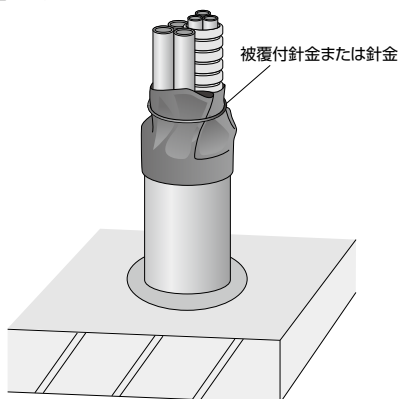
2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- テープを巻く位置の埃・汚れを除去します。
- 「鋼製電線管用テープ」を鋼製電線管のいずれか片側のプッシングの上から図Dの状態になるように巻き付け、ケーブルとの隙間が発生しないように施工します。  
(床下側での施工も可能です。両側に施工する必要はありません。)



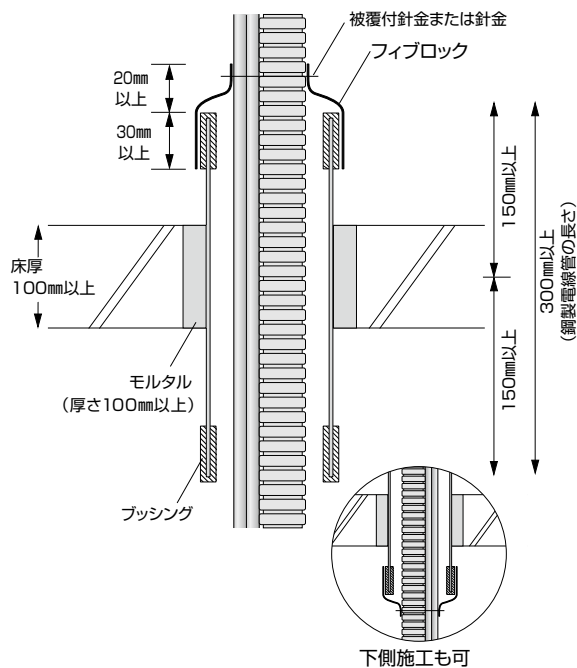
3. 仕上げ

- ケーブルにフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。



◎標準施工図

●PS060FL-0595の場合  
(ALC・コンクリート床)



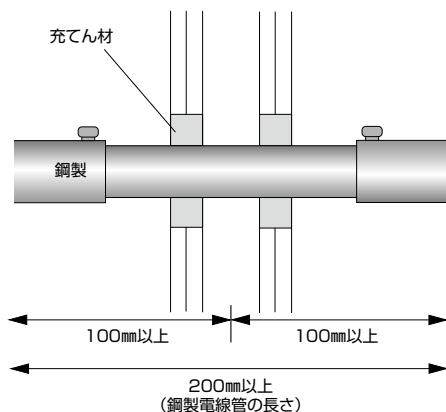
# 標準施工方法 [異種管継手(アダプター):壁の場合] PS060WL-0612, 0610-1, 0611

※PS060WL-0612,0610-1には「セキスイ耐火パテ(NCJM001)」をご使用ください。(鋼製電線管は別途支持してください。)

## ◎施工手順

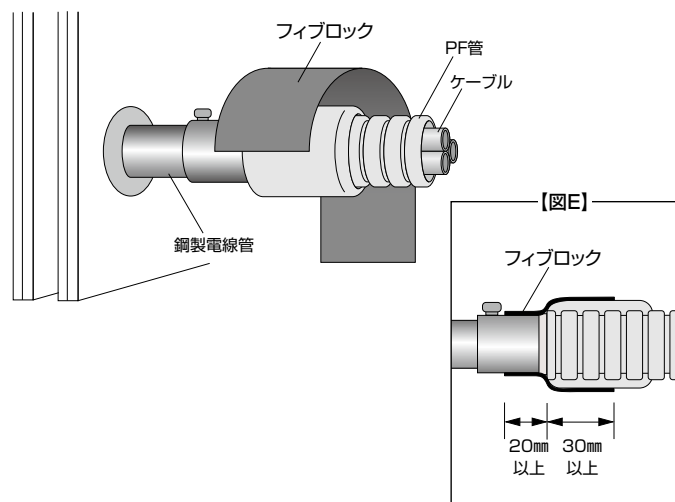
### 1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が200mm以上であることを確認します。
- ケーブルの占積率が適正であることを確認します。



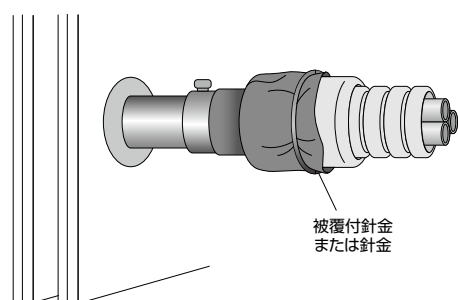
### 2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- 鋼製電線管の端部にアダプターを取り付けます。
- 鋼製電線管用テープをいずれか片側のアダプターの上から図Eの状態になるように隙間なく巻き付けます。(鋼製電線管の両側に施工する必要はありません。)



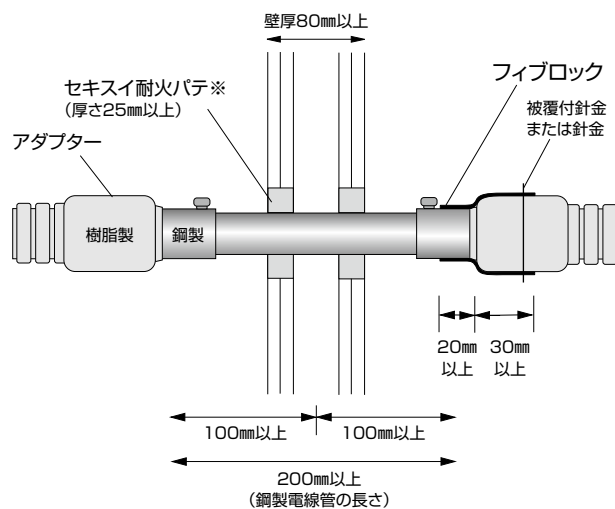
### 3. 仕上げ

- アダプター樹脂部にフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。

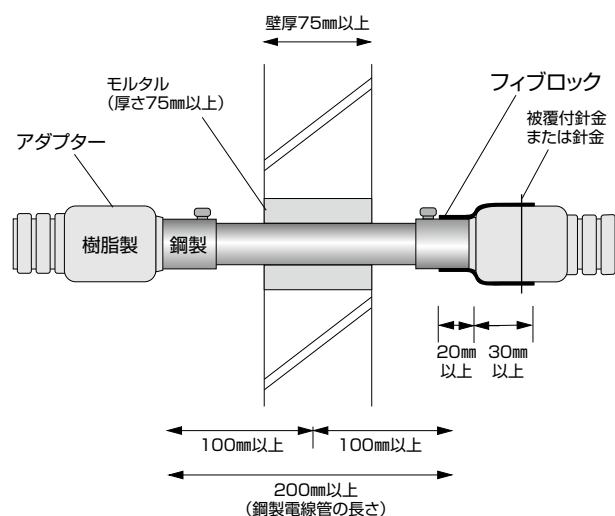


## ◎標準施工図

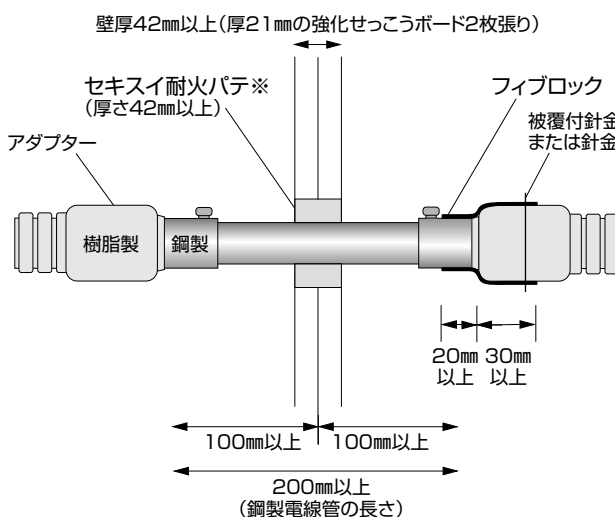
### ●PS060WL-0612の場合 (中空壁)



### ●PS060WL-0611の場合 (ALC・コンクリート壁)



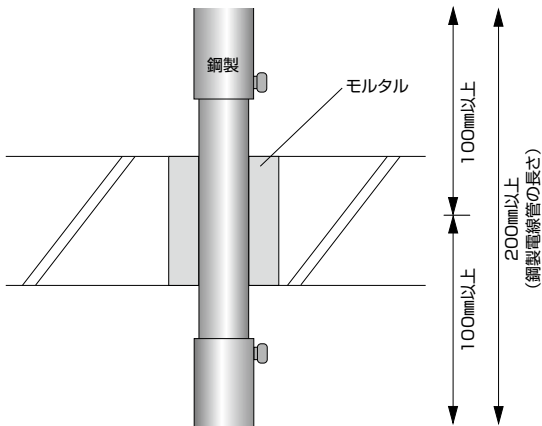
### ●PS060WL-0610-1の場合 (片壁)



◎施工手順

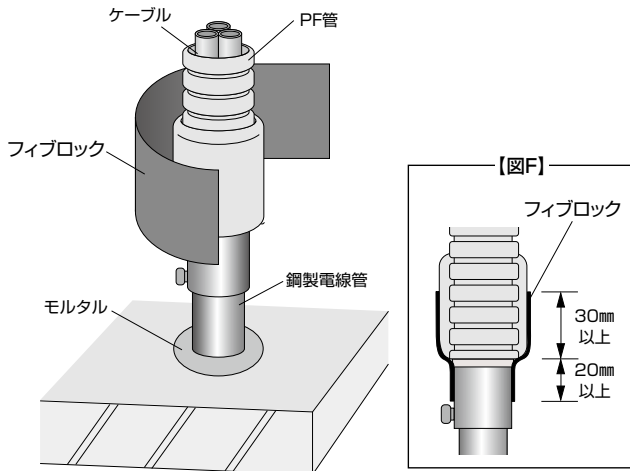
1. 鋼製電線管長さ・占積率の確認

- 鋼製電線管の全長が200mm以上であることを確認します。
- ケーブルの占積率が適正であることを確認します。



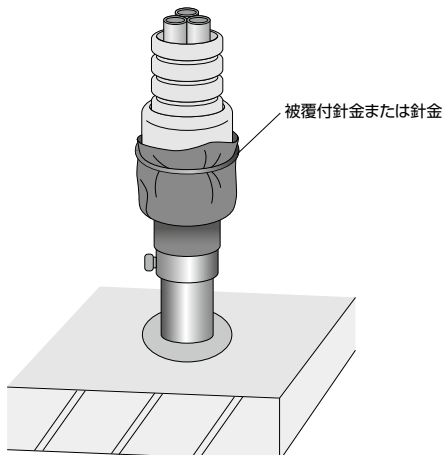
2. フィブロック鋼製電線管用テープの巻き付け

- 鋼製電線管の端部にアダプターを取り付けます。
- 鋼製電線管用テープをいずれか片側のアダプターの上から図Fの状態になるように隙間なく巻き付けます。  
(鋼製電線管の両側に施工する必要はありません。)



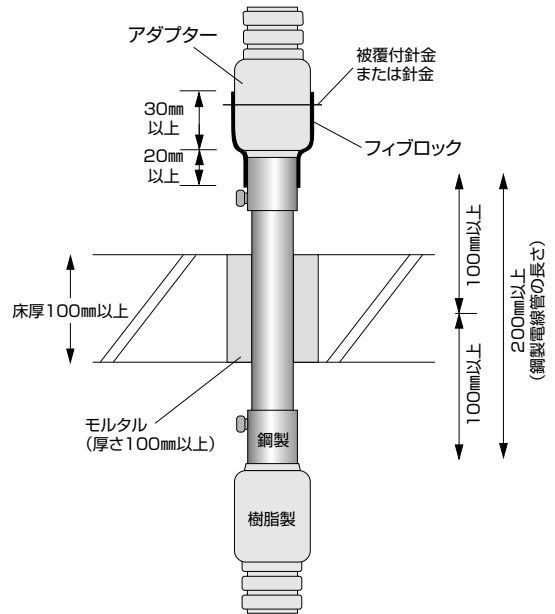
3. 仕上げ

- アダプター樹脂部にフィブロックが巻かれた部分を被覆付針金または針金で固定します。



◎標準施工図

●PS060FL-0609の場合  
(ALC・コンクリート床)





## ⚠ 注意事項

- ファイブロックの用途、使用条件の詳細については各認定書・評定書、カタログをご確認ください。
- 区画貫通措置以外の目的には使用しないでください。
- ファイブロックの幅は規定の寸法となっていますので、幅を変えて使用しないでください。
- ケーブルや電線管の支持機能はありません。別途、支持固定を行ってください。
- 別途内線規程がある場合、遵守して施工してください。
- 防水機能はありません。必要な場合には別途、防水処理を行ってください。
- 必要に応じて、手袋や保護メガネ等、適切な保護具を使用してください。
- 水濡れや直射日光、高温下は避けて運搬・保管してください。
- 紫外線や水、薬品等のかかるところ、高温多湿の環境下、結露する場所では使用しないでください。
- 製品に局所的な荷重が加わると、潰れなどの変形や破れの恐れがあるため、保管や輸送の際はご注意ください。
- 残材や使用後の廃材の処分は、法令及び地方自治体の条例に従ってください。
- 防火区画貫通について不明な点は、所轄の行政機関へご確認ください。

製造元 **積水化学工業株式会社**

耐火材料事業部

<https://www.sekisui.co.jp/fp/>



販売元 **積水マテリアルソリューションズ株式会社**

耐火資材営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-3-6

TEL 03(6744)5806 FAX 03(6744)5807

●お問い合わせは上記連絡先をお願いいたします。

\*本製品は改良のため予告なく仕様変更する場合があります。

ツールコード

No. 07362

(FP062T)  
2023.11.TX